

# テレビドラマに描かれるスポーツ ～ヒットドラマから見るスポーツ像の変化と、その時代背景～

## Sports portrayed in television dramas:

### Transition of the image of the sports in popular dramas and the historical background

1K10C269

主査 平田竹男 先生

手塚 大貴

副査 中村好男 先生

#### 【研究背景】

テレビドラマの視聴率は10%前後を平均して記録しており、単純計算すると約1300万人が同じ時間に視聴しているという事になる。つまりテレビドラマは他の媒体とは比べ物にならない程の巨大な影響力を持つコンテンツであると言える。

そんなテレビドラマの中に、スポーツをフィクションで描く「スポーツドラマ」の存在がある。その影響力も非常に大きく、1984年「スクール☆ウォーズ」によるラグビーブームをはじめ様々なブームや現象を起こしてきた。

#### 【研究目的】

ドラマの中で描かれるスポーツ像が時代の流れと共にどのように変化していったのかを明らかにする。

#### 【研究・考察方法】

本研究では、前述の研究目的のために以下の手法を用いた。

- スポーツドラマの定義を設定し、条件に見合うものを「スポーツドラマ」のサンプルとして選出する、そして選出したドラマをいくつかの観点から表にし、共通点、相違点を探る。
- サンプルを更に5つ程度に絞り時代の流れと共に変化していった要素とその理由を考察していく。

#### 【研究結果】

スポーツドラマ21作品を様々な観点から比較した結果、以下のような事が明らかになった。

- 共通点:ライバル  
6割以上の作品に、明確な競技上のライバルが存在していた。時代によっての偏りはなし。
- 共通点:ハッピーエンド  
7割以上の作品が、最後の試合、演技で優勝、もしくは勝利とハッピーエンドを迎えている。時代によっての偏りはなし。
- 共通点:優れた指導者  
時代を超えて主要キャストに存在し続ける指導者、その全てが競技力を向上させるなど主人公の味方といえる存在である。
- 相違点:2000年代からの恋愛要素の登場  
2000年代以降、主要キャストに恋愛要素が目立ち始める。これは2000年以前にはまったく見られないものであった。
- 相違点:2000年代からのマイナースポーツの登場  
メジャースポーツが当たり前であったスポーツドラマに、競技性のないスポーツが登場し始めた。

#### 【考察】

更に5つに絞ったドラマに時代背景調査と内容分析を加え、考察を行った。

➤ スクール☆ウォーズ ～泣き虫先生の7年戦争～(1984)  
尾崎豊のヒット、竹の子族の登場などからも分かるように、この年の日本の若者たちは、大人や社会に対し、強烈な反発心を抱いていた。そんな時代に誕生したこの作品では、主人公が「熱血」の二文字で生徒達をラグビーの世界に導いていった。荒れに荒れた高校や、体罰が美化されているような描写も、時代を反映したものであると言えるだろう。また、僅かに存在する恋愛の描かれ方などからもスポーツ＝男らしさの象徴だという認識が根強い時代であるように感じさせられた。

#### ➤ WATERBOYS(2003)

No1よりOnly1との曲が空前の大ヒットを飛ばし、青春パンクも大ヒット、その一方でゆとり教育が本格的にスタートした年。こんな時代の流れに合わせてか、このドラマでは今までのスポーツドラマの大義名分を完全に無視。才能も持たない普通の高校生が、競技性のないスポーツに挑むというストーリー。また恋愛や学業も、競技と同じ程度の比重で描かれ、スポーツ＝男らしさから、スポーツ＝青春の象徴への変化を感じさせられた。

#### ➤ エースをねらえ(2004)

アテネ五輪をはじめ世界的スポーツの話題に賑わったこの年は、スポーツドラマ豊作の年でもあった。このドラマは去年のWATERBOYSからは一転、スポーツドラマの大義名分通りのストーリー。人気少女漫画が原作だが、原作よりも恋愛要素の比重を重くして描かれており、このあたりは時代を反映していると言える。

#### ➤ ROOKIES(2008)

リーマンショックの影響も大きく、夢を持てなくなった時代に描かれたこの物語の主人公は、「夢にとさめけ、明日にきらめけ」という決め台詞で生徒に向かい合う熱血教師。スクールウォーズと比較した結果、物語構造としては類似しているものの、恋愛要素や笑いの要素の増加、そして何より体罰のタブー化などが描かれていた。

#### ➤ ブザー・ビート～崖っぷちのヒーロー～(2009)

定額給付金、ファストファッション流行など更なる不況が続いたこの年の主人公も、お金に困っていた。経済面による競技継続の危機など今まで触れられなかった現実的な部分にも触れ、また主人公のオトメンという設定よりスポーツ＝男らしさは完全に崩壊したと言える。

#### 【結論】

スポーツドラマは、スポーツという主軸こそ持ちながらも、その比重を変えながら、またライバル・ハッピーエンド・優れた指導者というようなスポーツの大義名分を描く定番の形を持ちつつも、時にその形を崩しながら、各時代を反映したストーリーを描いていた。

近年見られなくなったスポーツドラマではあるが、これから時代を描く一つのドラマジャンルとして、素晴らしい作品が生まれていく事を切に願う。